中学生と教育委員との意見交換会（意見概要）

1 目的 教育委員会が、教育に関するテーマに沿って意見交換することにより教育的ニーズを聴取する機会とし、教育行政の進展を図る。

2 日時・場所

令和3年12月22日（水）15：00～16：30

千葉ポートサイドタワー12階 第一・第二会議室（千葉市教育委員会内）

3 出席者

- ・中学生 6人
- ・教育長
- ・教育委員 5人

4 意見交換テーマ

千葉市の学校教育に求めるもの

- （1）学校をよくするために自分にできることとは？
- （2）自立した社会人になるためには？

5 意見概要

中学生が「学校をよくするために自分にできることとは？」、「自立した社会人になるためには？」についての考えを示した後、教育長・教育委員から発言に関する質問・中学生へのエールや期待などが述べられ、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われた。

■「学校をよくするために自分にできることとは？」について

- ・目安箱（意見箱）やアンケートなどにより生徒の意見を取り入れる。また、生徒が率直な意見を示せるよう意見の収集方法を工夫する。
- ・生徒の意見を先生に伝え、理解してもらう。
- ・現状に合わない校則を先生と協議しながら見直す。
- ・給食の食べ残しを減らすキャンペーン、ペットボトルキャップの回収、地域での清掃活動への参加など、SDGsに関する活動を学校内で始める。
- ・担任制を廃止し、面談する先生などを生徒が選べるようにすることにより、「通いたくなる学校」にする。
- ・テストの順位付けにより勉強が嫌いになる生徒もいる。「学力が向上する学校」にするため、テストの順位付けを廃止し、偏差値を示す。

■「自立した社会人になるためには？」について

- ・国語の授業で学んだ物語文の心情の読み取りや、道徳の授業で学んだ「いじめといじり」の違いなどが、相手の気持ちを考え、人間関係を築く際に役立つ。
- ・将来は国外で活躍する人、日本に来る外国の方が増える。英語の授業で学んだコミュニケーション力が外国の方との交流に役立つ。
- ・地理の授業で学んだ環境問題（SDGs など）は、自身が大人になったときに直接向き合わなければならないもの。今のうちから少しでも知っておくべき。
- ・自立した社会人とは「自主性のある人、寛容の心のある人」である。各教科のグループワークなどで周囲の人たちと協力する力を身につける。
- ・生徒会活動の中で、今の学校に必要なことは何かを考え、企画し、行動に移す。
- ・人に頼る方法を学ぶ。自分ができる量を理解し、それを超えたら人に頼る。
- ・職場体験など様々な仕事を知る機会です社会人の活躍に触れ、将来の自分に役立つもの、何のために勉強するのかなどを知る。

■教育長・教育委員から

- ・学校を良くしようという気持ちが感じられる。
- ・現状の校則に対し「おかしい」と思う感覚を大事にしてほしい。校則は変えられる。
- ・日頃の授業が役に立っているとの意見が多く嬉しく思う。
- ・「社会」は大人だけではない。グループができれば「社会」である。所属する「社会」が良くなればここにいて良かったと思える。社会が良くなるための意見を持ち、役割を担い、行動してほしい。
- ・職場体験で行きたいところがあれば先生に伝えてほしい。
- ・先生からアドバイスをもらいながら取り組んでほしい。
- ・自分たちで決めたことをきちんと守ることが大事。
- ・皆さんが取り組んでいる経験は無駄にならない。経験が人を育てる。
- ・学校・地域の実態を踏まえ、先生と協力して学校を作っていくしてほしい。これからの活躍に期待している。